

令和6年度一般会計予算は1兆865億円と過去最大 一般会計の市債残高は253億円減の1兆1,003億円に



今議会から本会議場で
画像投影ができるようになりました

令和6年第1回福岡市議会定例会が、2月19日に開会し、3月28日の本会議採決まで、39日間の審議を経て、令和6年度の予算が成立いたしました。

令和6年度の予算のコンセプトは「強くてやさしい福岡」で「都市の成長と生活の質の向上の好循環」を力強いものとするため、子どもや子育て世代をはじめとした分野で、やさしく、きめ細やかな施策を積極的に実施します。

令和6年度予算の特徴ある施策

① 子ども・子育て関連

誰でも通園制度 最大月40時間の預かりを実施、利用人数・実施園を大幅に拡充

不登校特例校 中学生を対象にした学びの多様化学校を新設（R7.4月開校予定）

不登校児童支援 教育支援センターを全区に増設（教育支援員配置）

特別支援学級の増設 R5年度は101教室、R6年度は54教室で合計155学級増設



② 高齢者・福祉

高齢者乗車券のタクシー券を利用しやすく 1回の乗車で2枚使用可能へ（R6.10月～）

ユマニチュード推進 市民・地域・事業者へ認知症に対する理解を深める活動を推進

高齢者見守り支援 スマートスピーカーの活用実験



③ 都市の成長・経済・防災

天神博多エリア再開発 新しいビルの開業に合わせた企業誘致とプロモーションを実施

九大箱崎跡地の開発・箱崎中新築移転 箱崎中学校移転に向け85億円の予算計上

世界から指名される金融都市を目指す 外資系金融機関の拠点設立へ向けたPRを実施

防災アプリ「ツナガル+」で市民に発信度 防災アプリの機能強化と利用促進

防災備品の拡充 簡易トイレ、水なしシャンプー、ボディソープ等の備蓄品の拡充

地下鉄（七隈線、空港線）車両4編成追加 七隈線の混雑緩和に車両を増強

燃えるゴミ袋10Lの追加販売



公明党福岡市議団 議会改革の推進に関する申し入れを行いました



2月19日、市民に分かりやすい情報公開の実現、議案などの審議の充実、議員の政策立案能力の向上等の取り組みを更に推し進め、より一層、市民に信頼される議会を構築するため、次の5項目を公明党福岡市議団として申し入れを行いました。

- ① 議会による政策立案を行うため法務・調査を行うスタッフの確保や議会サポート体制を強化すること
- ② 本会議、特別委員会のみではなく、常任委員会のインターネット生中継、録画中継を行うこと
- ③ 討論の場のIT化を進め、委員会室にスクリーンを設置し、パソコンやタブレット端末の持ち込み、スライドや写真を使つての議案説明や質疑を認め、市民に分かりやすい情報発信を行うこと
- ④ 傍聴者が賛成者と反対者は何人かがわかりやすい押しボタン式投票による電子表決を導入すること
- ⑤ 現在、小学生対象の親子議場見学会を中学生や高校生世代まで拡大するようにすること

「山口つよし」議員活動トピックス

ABURAYAMA FUKUOKA・福岡市植物園

福岡市水素ステーションを視察

市民に親しまれてきた「油山市民の森」と「油山牧場」がひとつになって生まれ変わった ABURAYAMA FUKUOKA



を視察しました。リニューアル後の状況や今後の整備計画等について説明を受けました。続いて、一人一花運動の拠点である福岡市植物園にオープンした「ボタニカルライフスクエア」を視察。360度植物に囲まれたロケーションを活かして、緑のある空間や生活の良さを感じてもらい、花や緑のあるライフスタイルの発見、発想、発信を生み出すことに活用できる施設です。また中央区荒津にある「福岡市水素ステーション」を視察。市民の生活排水を処理する過程で発生するバイオガスから水素を製造し燃料電池自動車等へ供給する「世界初」の水素ステーションが稼働しております。



令和6年度予算編成への要望書を提出



12月5日、一般要望198と各区要望77の計275項目からなる「令和6年度予算編成への要望書」を公明党福岡市議団から高島市長へ提出いたしました。令和6年度の予算要望に向けて各議員が地域・個人、企業・団体などから様々な意見をいただきました。福岡市民の生活の質の向上、そしてSDGsやWell-beingの向上を目指し、具体的な施策をここに提案いたしました。

ご意見・ご質問・ご要望をお寄せ下さい

TEL:092-711-4728 FAX:092-741-4597

山口つよし

《担当役職》

総務財政常任委員会 委員

九大移転・跡地対策協議会 委員

少子・高齢化対策特別委員会 委員

